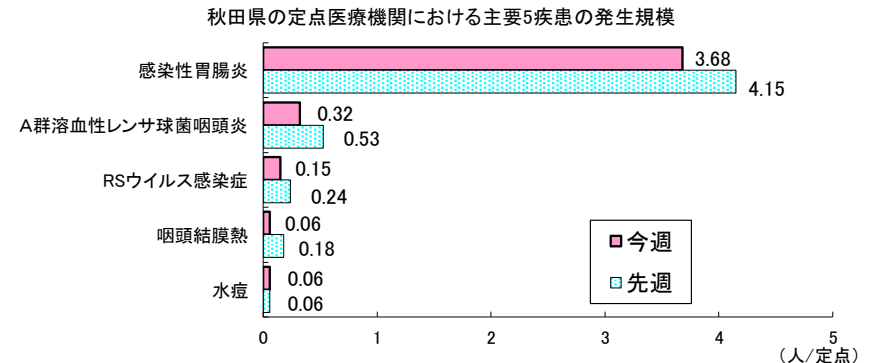




【第6週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で11%減少しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、横手で増加、北秋田で同規模、大館、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で40%減少しています。保健所別では、秋田中央、由利本荘で増加、秋田市、大館、北秋田、大仙、湯沢で減少しています。
3. RSウイルス感染症は、県全体で38%減少しています。保健所別では、秋田市で増加、秋田中央で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減			
RSウイルス感染症	0.24	0.15	↘	0.29	0.57	↗									1.50	0.25	↘													
インフルエンザ	0.02		↘																0.17		↘									
咽頭結膜熱	0.18	0.06	↘	0.57		↘		0.50	↗													0.50		↘						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.32	↘	0.43		↘	1.50	0.50	↘	2.00	0.50	↘			0.25	1.25	↗		0.50	↗	0.75	0.25	↘			0.33		↘		
感染性胃腸炎	4.15	3.68	↘	5.14	6.86	↗	1.00	0.25	↘	0.50	0.50		4.00	5.00	↗	0.75	2.75	↗	11.00	8.25	↘	6.00	1.75	↘	0.33	1.00	↗	5.33	2.00	↘
水痘	0.06	0.06					0.50	0.25	↘													0.25	↗							
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.12	0.06	↘	0.43		↘	0.25		↘					0.33	↗									0.33	↗					
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.03	↗		0.14	↗																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
流行性角結膜炎	0.14		↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*								*	*				
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
 ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から606人、大館保健所管内から153人、北秋田保健所管内から13人、能代保健所管内から30人、秋田中央保健所管内から109人、由利本荘保健所管内から23人、大仙保健所管内から84人、横手保健所管内から155人、湯沢保健所管内から102人、報告されました。

<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-5週		6週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	1125	3	1
	ジフテリア			
二類	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢			
三類	腸管出血性大腸菌感染症	80	1	
	腸チフス			
	バラチフス			
四類	E型肝炎	42		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	7		
	エキノкокクス症	1		
	黄熱			
	オウム病			
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	2		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

(人)

類型	疾患名	1週-5週		6週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	37		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	2		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア			
	野兔病			
	ライム病	2		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	108	2		
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	47		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	17		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	116	1	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1		
	急性脳炎	23		
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	17		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	66		
	後天性免疫不全症候群	77		
	ジアルジア症	1		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	20		
	優襲性髄膜炎菌感染症	1		
	優襲性肺炎球菌感染症	111	1	
	水痘(入院例に限る)	20	1	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	801	1	
	播種性クリプトコックス症	9		
	破傷風	4		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	6		
百日咳	46	2		
風しん				
麻しん	1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1			
* 新型コロナウイルス感染症	3543	1275		

* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<ノロウイルスによる感染性胃腸炎について>

感染性胃腸炎は年間を通じて様々な病原体によって起こりますが(図)、冬季は主にウイルスを原因とする患者報告が多くあります。また、保育園や高齢者施設においてノロウイルスなどによる集団発生事例も報告されています(表)。こまめな手洗い等を励行し、感染予防を心がけましょう。

■病原体の特徴

感染性胃腸炎の原因となるウイルスとして、最も患者報告数が多いのはノロウイルスです。感染すると24時間～48時間の潜伏期間の後に、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、発熱を伴うこともあります。通常、これらの症状は数日で改善しますが、乳幼児や高齢者では、脱水や嘔吐物をのどに詰まらせて窒息など起こさないよう注意が必要です。

■感染経路

主な感染経路は、病原体が付着した手からの接触感染、加熱不十分な汚染食品を食べることによる経口感染です。環境中での生存力が強く、また感染力も強いノロウイルスでは、嘔吐物などが乾いた時にほこりと一緒にウイルスも舞い上がり、それを吸い込むことで感染する場合があります。

■予防対策

- ・トイレの使用後や調理・食事の前には、石けんをよく泡立ててしっかりと手を洗いましょう。
- ・二枚貝などの食品を調理する際には、中心部まで十分に加熱しましょう。
- ・ノロウイルスには、アルコールによる消毒効果が低いので、患者の便や嘔吐物の消毒処理は、次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤を用いて行いましょう。

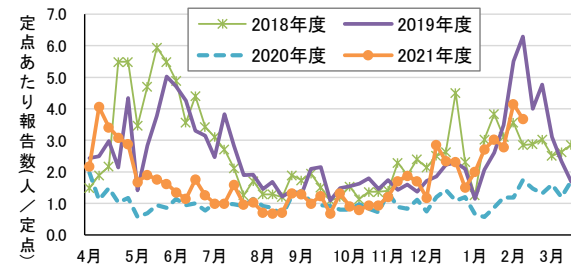


図 秋田県における感染性胃腸炎の定点あたり患者報告数の推移

表 県内における感染性胃腸炎の集団発生事例

発生年月	検出病原体	件数
2021年	ノロウイルス	0
10月	未検査・不明	4
11月	ノロウイルス	0
	未検査・不明	5
12月	ノロウイルス	3
	未検査・不明	1
2022年	ノロウイルス	4
1月	アデノウイルス	1
	未検査・不明	3

集団発生事例：保育園や高齢者施設等における10人以上の患者発生報告事例

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎2件、水痘1件、RSウイルス感染症1件、アデノウイルス感染症1件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				園児	職員	計		
感染性胃腸炎	湯沢市	湯沢こども園	2/4	115名のうち 23名	32名のうち 0名	23名	2/3 ~ 2/10	嘔吐、下痢
	由利本荘市	清徳幼稚園・清徳保育園	2/8	159名のうち 11名	40名のうち 0名	11名	2/5 ~ 2/8	嘔吐、下痢
水痘	大仙市	大曲南保育園	2/7	167名のうち 10名	32名のうち 0名	10名	1/17 ~ 2/7	発疹
RSウイルス感染症	男鹿市	船越保育園	2/3	153名のうち 10名	49名のうち 0名	10名	1/21 ~ 2/2	発熱、咳
アデノウイルス感染症	男鹿市	船越保育園	1/31	153名のうち 10名	49名のうち 1名	11名	1/21 ~ 1/31	発熱、咳



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		